

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		産業立地関連促進事務		担当課		産業拠点整備室	担当係	拠点整備係	管理番号	2602	
総合計画	大項目	3	活力とにぎわいにあふれるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	2	雇用とにぎわいを生み出すまちづくり		根拠法令 個別計画等	都市計画法、農振法、農地法、土地区画整理法、道路法、水道法、埼玉県雨水流出抑止給施設の設置等に関する条例、深谷市総合計画、深谷市都市計画マスタープラン等					
	小項目	2	観光資源の整備と活用								
	主要プロジェクト	0	(未使用)								
事業概要		雇用の創出及び自主財源の確保を目的として、工業団地の開発や産業拠点の整備などの企画立案及び進行管理を行う。特に花園ⅠC拠点地区については、土地区画整理の手法により、インフラ整備を中心とした重点的な事業として進めていく。また、工業団地開発については、開発可能な手法の検討を継続して行う。									
目的 ※何のために		雇用創出及び自主財源確保のため									
対象 ※誰・何を対象に		花園ⅠC拠点地区									
手段 ※どのように		花園ⅠC拠点地区のインフラ整備は、主に道路、上下水道、造成であり、それらの整備に関する測量設計及び工事を実施する。また、工業団地開発については、既存工業団地や新規開発地の洗い出しを継続して行う。									
成果 ※何を求めるか		産業拠点の整備推進及び工業団地開発の研究・検討									
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()									
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額（円）			
		一般会計	8	土木費	4	都市計画費	1	都市計画総務費	産業拠点推進事業	133,032,137	
		一般会計	8	土木費	4	都市計画費	1	都市計画総務費	ふかや花園駅前土地区画整理事業特別会計繰出金	353,487,000	
		特別会計	1	総務費	1	総務管理費	1	一般管理費	人件費〔産業拠点整備室〕		
		特別会計	2	事業費	1	事業費	1	事業費	土地区画整理事業	830,090,451	
		特別会計	2	事業費	1	事業費	1	事業費	土地区画整理事業	79,900,000	
本事業の 主な業務		・道路測量調査（H26～H29）					・造成測量（H27～H29）				
		・道路設計（H27～H30）					・造成基本計画（H27～H28）				
		・道路改良工事（R1～R3）					・造成実施計画（H28～H29）				
		・下水道計画（H26）					・造成工事〔調整池含む〕（R1～R3）				
		・推進工設計（H29）					・土地区画整理換地処分等（R4～R5）				
		・配水管布設工事（H30～R2）					・				

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		道路設計、造成実施計画、土地区画整理事業計画、換地設計、駅ロータリー築造工事	測量設計業務、用地購入、物件移転、配水管布設、工事駅ロータリー築造工事	造成工事、調整池設置工事、道路改良工事、物件移転、仮換地指定	造成工事、道路改良工事、推進工事、踏切拡幅工事、物件移転	造成工事、道路改良工事、公園整備工事、デジタルサイネージ設置	街区出来形確認測量、事業計画の変更、換地計画書作成、換地処分
事業費	予算(現額)	816,180,200	322,118,440	1,445,728,233	2,395,154,000	2,640,393,000	1,710,320,000
	決算額	557,720,884	115,086,316	854,898,192	1,539,416,134	1,397,129,309	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	398,100,000	53,500,000	109,030,000	211,000,000	733,500,000
		他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	159,620,884	61,586,316	745,868,192	1,328,416,134	895,729,309	976,820,000
人件費	従事職員数(人)	5.65	5.30	5.05	5.10	4.75	3.15
	人件費相当試算※	43,951,350	41,244,600	40,930,250	41,493,600	36,869,097	25,613,746
総事業費試算		601,672,234	156,330,916	895,828,442	1,580,909,734	1,433,998,406	1,735,933,746

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
成果指標 1	道路の整備率	目標値	%	0	0	20	60	100		
		実績値		0	0	8.95	26.86	44.78		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			事業の進捗に合わせた目標地の設定 / 道路整備費						
	実績値の算出式					事業費累計／全体	事業費累計／全体	事業費累計／全体		
成果指標 2	配水管布設率	目標値	%	0	83.1	100	100	100		
		実績値		0	74.3	74.3	86.16	100		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			事業の進捗に合わせた目標値の設定 / 配水管布設延長						
	実績値の算出式				639／860	639／860	741／860	860／860		
成果指標 3	造成実施率	目標値	%	0	0	20	60	100		
		実績値		0	0	13.93	34.19	68.62		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			事業の進捗に合わせた目標値の設定 / 造成費						
	実績値の算出式					事業費累計／全体	事業費累計／全体	事業費累計／全体		
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	関係機関や地権者との調整を適宜行うことにより、関連するすべての工事が概ね計画どおりに進捗している。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	造成及び道路工事は3年目を迎え、深谷テラス公園整備工事も並行して実施し、事業に必要な基盤整備が計画どおり進捗している。
			評価者 拠点整備係長 若杉 剛

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	事業実施において、オンライン会議やLOGOチャットを活用することにより、内部事務の効率化を図ってきたが、事業全体としてはICT活用や業務改善を継続して検討する必要がある。
			評価者 拠点整備係長 若杉 剛

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	産業立地関連促進事務	担当課	産業拠点整備室	担当係	拠点整備係	管理番号	2602
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <p>軽微な修繕や工事出来高精査及び事業契約の変更手続き等のスケジュールが合わなかったため、令和3年度内の業務完了には至らなかったものの、適切な工程管理により民間事業者へ円滑に敷地引き渡しを行い、当初の通り施設オープンがなされる予定である。 また、区画整理事業の完了に向け、連続した業務進捗がなされている。</p>					
<div>上記を実施するための具体的な取組内容は？</div>		<div>評価者</div> 産業拠点整備次席特命監兼室長 三浦 聖樹					

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

